



沖縄フレッシュ株式会社

沖縄が誇る海産物である沖縄モズクを、もっと多くの人へ

【主な品目】

モズク・味付けモズク・乾燥モズク・海ぶどう

【主な輸出先国・地域】

タイ、韓国 など

【輸出取組の概要】

- ◆ 沖縄県の特産品であるモズクの輸出に令和2年から取り組んでいたが、主要顧客であった中国がALPS処理水放出に伴い日本産水産物輸入停止措置を実施したことで輸出が滞った。
- ◆ 県内事業者や生産者と連携しながら現地ニーズに合った製品開発を実施した。
- ◆ 県の「県産農林水産物輸出体制強化事業」で韓国バイヤーとの商談を成立させた。

【輸出実績】

	輸出額(千円)	輸出量(t)	出荷時期
令和2年度	7,987	22.5	通年
令和7年度 (4-7月)	5,112	11.7	



【取り組む際に生じた課題】：マーケティングの基本

- ・ターゲット国の選定、輸入規制、輸出手続きの把握の難しさ
- ・現地の認知度の低さ、国内外の商社等の取引先の探し方
- ・輸出先国の政治的な判断による輸出環境の急激な変化の対応

【生じた課題への対応方法】：見本市・商談会への積極的な参加

- ・輸出支援機関(JETRO、中小機構等)、有効的な事業の積極的な活用
- ・沖縄大交易会、商談会、輸出セミナーの活用
- ・現地の認知度が高い食品に合わせたPR活動の実施
- ・輸出先を1カ国に偏らない複数の国への地道な営業活動



味付けカップモズク

【取組の効果】：商談会を通じた成約・輸出実行・販路拡大

- ・輸出への取組を本格始動した令和元年度(794千円)から、令和2年度には輸出額10倍(7,987千円)までに増加した。
- ・中国の日本水産物輸入停止措置により中国への輸出が厳しくなったものの、他国へその国に合わせた営業活動を行い、販売につなげることができた。
- ・その結果、令和7年度はピークであった令和2年度実績を上回る見込み。



洗いモズク

【今後の展望】

- ・韓国、タイ、ベトナムの販路を令和8年度までに確立し、中国、香港、シンガポールを含めた5カ国・地域への継続及び再輸出を目指す。



海ぶどう

【活用した施策】 移ぐ企業連携事業等(沖縄県)・県産農林水産物輸出体制強化事業(沖縄県)

【ウェブサイト】 <https://okifre.co.jp/>

【連絡先】 担当者名：内間 勲 TEL:098-995-9127